



# Hachioji MAIL NEWS

輸送サービス労組 八王子地本

JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION-HACHIOJI



ホームページ

2021.6.25  
No. 204



Twitter

八地申  
第34号  
6/24  
申し入れ

## 三鷹駅輸送体制の見直し に関する申し入れ

2021年4月28日に「2021年度営業関係施策について」の提案を受け、三鷹駅の輸送体制を見直すということが提案されましたが、三鷹駅は(株)中央線コミュニティデザインに委託される武蔵境駅と(株)JR東日本ステーションサービスに委託される吉祥寺駅と取扱いの異なる2つの被管理駅をもつ輸送の要となる駅であり、三鷹車両センターへの入出区を扱い、中央緩行線・急行線の接続駅としても重要な駅です。そのような三鷹駅において働く組合員は、国鉄採用の退職が進み、豊富な経験・技術を持った社員の減少・異動による安全レベルの低下を食い止めるべく日夜奮闘しています。

お客さまに「安全で安心して利用できる交通手段」として鉄道による輸送サービスを提供するために、社員が安全で働きやすい職場を創り出していかななくてはなりません。規模は縮小されるかもしれませんが、7月から開催されるオリンピック・パラリンピックにおける旅客の足となる鉄道輸送は安全・安定が求められ、内外からも注目されます。

したがって、安全を向上させ働きがいのある労働環境を確保するために下記の通り申し入れを行いました。

1. 輸送体制の見直しを行う根拠を明らかにすること。
2. 輸送体制の見直しを行なって以降、被管理駅である吉祥寺駅・武蔵境駅へ速やかに駆けつけることのできる体制をとることができる根拠を明らかにすること。
3. 信号C番が行なっている業務を明らかにすること。また、体制見直し後、信号C番の業務をどのように行うのか明らかにすること。
4. 輸送体制の見直しを行うことでどのように三鷹駅の安全レベル・サービスレベルが向上するのか明らかにすること。
5. 2013年4月1日の武蔵境駅の(株)JR中央ラインモール(現(株)中央線コミュニティデザイン)への業務委託、2018年12月1日の吉祥寺駅の(株)JR東日本ステーションサービス・(株)びゅうトラベルサービスへの業務委託後、被管理駅である2駅への三鷹駅からの駆けつけの件数、及び成果と課題を明らかにすること。また、駆けつけた社員の当日の勤務体制について明らかにすること。
6. 被管理駅への速やかな駆けつけ体制を確保するために信号業務は現行通り2徹1日勤体制とすること。
7. 鉄道の安全を守るため、駅の特情を熟知した駅輸送のプロが信号業務を取り扱うこと。また新たに信号業務を担う社員に対して十分な教育・訓練体制を確立すること。
8. 輸送体制見直し後、安全・サービスレベルの維持・向上において重大な問題が発生した場合、再度体制を見直すこと。

**安全で働きやすい職場を職場からの声で創り出そう!**